

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                      |     |           |
|----------------|----------------------|-----|-----------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービス 楽しいわが家あげお |     |           |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年3月17日            |     | 令和7年3月27日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)               | 13名 | (回答者数) 9名 |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年3月17日            |     | 令和7年3月27日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)               | 8名  | (回答者数) 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月27日            |     |           |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)と思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                             | さらに充実を図るための取組等                       |
|---|---|---|--------------------------------------|
| 1 | こどもの特性に応じた支援を行っている。                       | 毎月のミーティングにおいて、子供たちの状況について確認し、支援内容や方法について検討を行っている。 | 個別支援・集団支援のプログラムを検討していく。              |
| 2 | 同法人の他事業所との交流により、多くの経験を得られる。               | 特に長期休みには、児童発達支援デイサービスと交流する機会を多く設けている。             | イベント等も充実させていく。                       |
| 3 | 戸外活動を多く取り入れている。                           | 支援時間に応じ、できるだけ戸外で体を動かす機会を設けている。                    | 訪問施設を増やして多くの体験をし、社会性・公共性を身につけるようにする。 |

|   | 事業所の弱み(※)と思われること<br>※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等                         | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                  |
|---|--|---|---------------------------------------|
| 1 | 療育プログラム・活動プログラムの随時更新                     | 様々な個性の児童に向けた支援は多岐にわたるため、共通するプログラムの考案が難しい。 | 療育グッズを取り入れたり、児童と一緒に取り組める制作や遊びを考案していく。 |
| 2 |  |   |                                       |
| 3 |  |   |                                       |